

「臨床婦人科産科」第 65 巻 総目次

2011 年 (第 1 号～第 12 号)

数字は通巻頁数, () は号数

今月の臨床

●胎児心拍数モニタリング (1)

胎児心拍数モニタリング発展の歴史

濱田 真一・清水 郁也・村田 雄二…………… 6

＜胎児心拍数モニタリングの現状と問題点＞

1. 国際的視野に立って

鮫島 浩……………14

2. 日本の現状と問題点

上妻 志郎……………21

胎児心拍数波形の用語と新しい定義—日本産科婦人科学会提言

岡村 州博・菅原 準一・佐藤 多代……………28

胎児心拍数波形の新しい判定基準—日本産科婦人科学会提言

岡井 崇・池田 智明・瓦林達比古・上妻 志郎・菅原 準一・千坂 泰・米田 哲・松岡 隆・斎藤 滋・岡村 州博……………33

胎児心拍数波形の実例と判読の演習

林 永修・池田 智明……………40

胎児心拍数波形の実例と判読の演習

関 博之……………45

胎児心拍数波形の実例と判読の演習

鈴木 則嗣……………53

胎児心拍数波形の実例と判読の演習

松岡 隆・長谷川潤一・市塚 清健・関沢 明彦・岡井 崇……………59

●静脈血栓塞栓症—予防・診断・治療 (2)

産婦人科における静脈血栓塞栓症の現状

小林 隆夫……………98

静脈血栓塞栓症の病態と予防ガイドライン

小林 浩・春田 祥司・川口 龍二…………… 105

静脈血栓塞栓症のリスク評価

平井 久也・金山 尚裕…………… 113

産科領域での静脈血栓塞栓症の予防策

早田 裕・増山 寿・平松 祐司…………… 118

周術期での静脈血栓症の予防策

高橋 俊文・清野 学・倉智 博久…………… 123

深部静脈血栓症の診断

山本嘉一郎…………… 130

肺血栓塞栓症の診断

小野 雄一・山本 剛・横田 裕行…………… 137

深部静脈血栓症合併妊婦の管理

松岡 隆・長谷川潤一・市塚 清健・関沢 明彦・岡井 崇…………… 142

静脈血栓塞栓症に対する抗凝固療法

山田 典一…………… 148

ホルモン補充療法と静脈血栓塞栓症

田辺 晃子・丸岡 理紗・大道 正英…………… 155

抗リン脂質抗体症候群と静脈血栓塞栓症

杉 俊隆…………… 161

遺伝性の凝固異常と静脈血栓塞栓症

根木 玲子・宮田 敏行…………… 166

●絨毛と胎盤をめぐる新知見 (3)

絨毛の発生・絨毛細胞の生物学

工藤 美樹…………… 201

＜絨毛性疾患の病態・病因論＞

1. 胞状奇胎・侵入奇胎

大場 隆・三好 潤也・片渕 秀隆…………… 207

2. PSTT・存続絨毛症

山本 英子・吉川 史隆…………… 214

3. 絨毛癌

井篁 一彦・馬淵 泰士・南 佐和子…………… 220

4. 絨毛性疾患の病理診断

福永 真治…………… 225

＜周産期疾患と絨毛＞

絨毛侵入障害と周産期疾患

吉村秀一郎・三浦 清徳・増崎 英明…………… 230

＜絨毛研究最前線＞

1. 胞状奇胎の発生機構

兼城 英輔・和氣 徳夫…………… 237

2. 胎盤形成のエピジェネティクス

秦 健一郎…………… 243

3. 絨毛細胞とオートファジー

中島 彰俊・山中美樹子・島 友子・斎藤 滋…………… 248

4. 絨毛細胞におけるマイクロRNA 菊池 邦生・石橋 幸・竹下 俊行・瀧澤 俊 広…………… 254	6. 頻発月経 高橋健太郎…………… 403
5. 栄養膜幹細胞 中西 もも・田中 智…………… 260	7. 過多月経 南 佐和子・八木 重孝・井篁 一彦…………… 408
●婦人科内分泌療法—病態の理解と正しい診断に基づ く対処・治療のポイント (4)	8. 月経困難症 藤原 浩…………… 413
＜思春期＞	9. 月経前症候群 (Premenstrual syndrome : PMS) 白土なほ子・長塚 正晃・岡井 崇…………… 418
1. 早発思春期 綾部 琢哉…………… 305	10. 高プロラクチン血症 高橋 俊文・網田 光善・倉智 博久…………… 429
2. 遅発思春期 藤井絵里子…………… 312	11. 神経性食欲不振症 甲村 弘子…………… 436
3. 月経不順 深澤 宏子・平田 修司…………… 318	12. 運動性無月経 甲村 弘子…………… 443
4. 機能的月経困難症 安達 知子…………… 323	13. 肥満と月経異常 堂地 勉…………… 448
5. 摂食障害 戸田 稔子…………… 329	14. Sheehan 症候群 高橋 慎治・久保田俊郎…………… 454
6. 思春期の骨量減少 榊原 秀也・北山 玲子・今井 雄一…………… 334	15. 月経異常と漢方 赤松 達也…………… 459
7. 低身長 (小人症) 堀川 玲子…………… 338	＜不妊・避妊＞
8. ターナー症候群 菅沼 信彦・亀田 知美…………… 345	1. 視床下部・下垂体性排卵障害 木内 理世・松崎 利也・苛原 稔…………… 465
9. 副腎性器症候群 金澤理一郎・細田 容子・小森 慎二…………… 351	2. 卵巣性排卵障害 齊藤寿一郎・石塚 文平…………… 475
10. アンドロゲン不応症 (精巣性女性化症候群) 白澤 弘光・熊谷 仁・寺田 幸弘…………… 356	3. 黄体機能不全 杉野 法広…………… 479
11. 性腺形成不全 堤 治…………… 361	4. 子宮内膜症合併不妊—エビデンスにもとづく診断 と治療 出浦伊万里・原田 省…………… 489
12. ざ瘡 (ニキビ) 吉村浩太郎・大須賀 穰…………… 367	5. 乏精子・無精子症 (男性不妊) 今本 敬・市川 智彦…………… 494
＜月経異常＞	6. 月経時期変更法 対馬ルリ子…………… 500
1. 原発無月経 峯岸 敬…………… 373	7. 低用量経口避妊薬 北村 邦夫…………… 504
2. 続発無月経 橋原 久司・平川東望子・宇津宮由布子・岡本真 実子…………… 379	8. 緊急避妊法 北村 邦夫…………… 511
3. 多嚢胞性卵巣症候群 久慈 直昭・小川 誠司・井上 治・福永 朝 子・菅原 かな・山田 満穂・浜谷 敏生・吉村 泰典…………… 384	9. IUD 関谷奈津子・高木 弘明・笹川 寿之・牧野田 知…………… 517
4. 機能的出血 可世木久幸…………… 390	＜更年期・老年期＞
5. 早発卵巣不全 田坂 慶一…………… 398	1. 更年期障害 高松 潔・小川真里子…………… 523
	2. 更年期のうつ 後山 尚久…………… 531

3. 更年期出血 望月 善子.....	536	5. 妊娠糖尿病の診断・定義について 杉山 隆・村林 奈緒・梅川 孝・神元 有紀・佐川 典正.....	667
4. 骨粗鬆症 水沼 英樹.....	540	6. 妊娠糖尿病の栄養管理とインスリン療法 清水 弘行.....	672
5. 脂質異常症 若槻 明彦.....	545	7. 妊娠糖尿病と胎児 伊東 宏晃.....	676
6. 高血圧 河野 宏明.....	550	8. 胎児の栄養学とDOHaD—成人病(生活習慣病)胎児期発症起源説の視点から 福岡 秀興.....	682
7. 糖尿病 小林 高明・小田原雅人.....	557	9. 胎児の発育と母体体重 竹田 善治・安達 知子・中林 正雄.....	690
8. 甲状腺機能異常 下平 和久.....	562	＜産褥と新生児の栄養管理＞	
9. 老人性腔炎 牧田 和也・平沢 晃・青木 大輔.....	568	1. 授乳女性の栄養管理 佐久間幸子.....	696
10. 外陰掻痒症 岡野 浩哉.....	572	2. 低出生体重児の栄養管理 渡辺とよ子.....	704
11. 排尿障害 角 俊幸・福田 武史・石河 修.....	578	3. 糖尿病と母乳育児 水野 克己.....	708
＜腫瘍・類腫瘍＞		●ART—いま何が問題か(6)	
1. 子宮筋腫 石川 博士・生水真紀夫.....	585	統計から見たわが国のART 桑原 章.....	750
2. 子宮腺筋症 中熊 正仁・森田 峰人.....	591	ART妊娠の周産期医療への問題点 藤森 敬也・菅沼 亮太・鈴木 聡.....	758
3. 子宮体癌の内分泌療法 保坂 昌芳・渡利 英道・櫻木 範明.....	597	＜ARTによる出生児の問題＞	
4. 卵巣の機能性嚢胞・類腫瘍 小倉 寛則・古井 辰郎・森重健一郎.....	603	1. 生後発育と先天異常 平原 史樹.....	764
5. 乳腺症 坂井 威彦・岩瀬 拓士.....	608	2. 児のエピジェネティクス異常との関連 阿久津英憲・佐藤 俊・秦 健一郎.....	770
6. 乳 癌 中村 清吾.....	612	＜生殖医学・医療のトピックス＞	
●母体と胎児の栄養学(5)		1. 始原生殖細胞の体外培養 松居 靖久.....	778
＜妊娠前の栄養管理＞		2. ES細胞と生殖医療—ES細胞は絶対不妊患者を救う細胞になりうるか 佐藤 英明・平舘 裕希・星野 由美.....	783
1. 妊娠前体格・栄養と周産期予後 池谷 美樹・田中 忠夫.....	633	3. iPS細胞と生殖医療 寺村 岳士・細井 美彦.....	791
2. 糖尿病女性の妊娠 山田 秀人・森實真由美・園山 綾子.....	640	4. MD-TESEの現状と課題 辻村 晃・松岡 庸洋・高尾 徹也・宮川 康・野々村祝夫.....	796
＜妊娠中の栄養管理＞		5. 反復ART不成功女性の問題 神野 正雄.....	801
1. 基礎代謝と糖代謝の変化 大口 昭英.....	644	6. 卵細胞質置換—基礎研究から臨床応用へ 藪内 晶子・香川 則子・青野 文仁・竹原 祐志・加藤 修.....	808
2. インスリン抵抗性の変化 松島 幸生・池上 信夫・深谷 孝夫.....	649		
3. 栄養と血管内皮機能の変化 永石 匡司・山本 樹生.....	654		
4. 妊娠中の運動と栄養 川端伊久乃・中井 章人.....	662		

7. がん・生殖医療：化学療法後 POF 治療ならびに 卵巣組織凍結 杉下 陽堂・鈴木 直・石塚 文平…………… 814	2. 梅毒, 結核 今中 基晴・橘 大介…………… 989
非配偶者間 ART への提言 岡垣 竜吾・石原 理…………… 820	3. 風疹ウイルス 関 博之…………… 996
●卵巣がん—最新の治療戦略 (7)	4. サイトメガロウイルス 川口 晴菜・光田 信明……………1000
＜初回治療＞	5. 水 痘 永井 立平・林 和俊……………1004
1. 進行卵巣癌の手術—Neo-adjuvant chemotherapy の有用性 保坂 昌芳・渡利 英道・櫻木 範明…………… 862	6. 麻 疹 永井 立平・林 和俊……………1009
2. 妊孕能温存の限界 梶山 広明…………… 866	7. パルボウイルス B19 松田 秀雄・吉田 昌史・川上 裕一……………1013
[3. ファーストラインの化学療法]	8. リステリア症 竹田 善治・安達 知子・中林 正雄……………1020
1) Dose-dense TC 療法 菅野 哲平・勝俣 範之…………… 874	＜産道感染・母乳感染への対策＞
2) 第3の化学療法薬の追加 堀内 晶子・塩沢 丹里…………… 878	1. 肝炎ウイルス (B 型, C 型) 米田 哲・中島 彰俊・斎藤 滋……………1024
3) ベパシズマブ (bevacizumab) の追加 杉山 徹…………… 884	2. HTLV-1 三浦 清徳・増崎 英明……………1029
4) 腹腔内化学療法 藤原 恵一・岩佐 紀宏・長尾 昌二…………… 891	3. B 群溶連菌 大浦 訓章……………1039
[4. 組織亜型別の治療法]	4. 単純ヘルペスウイルス 堤 誠司・前川 絢子・倉智 博久……………1046
1) 明細胞腺癌の疫学と治療 磯西 成治・上田 和…………… 898	5. クラミジア, パピローマウイルス, カンジダ 前濱 俊之……………1053
2) 粘液性腺癌 嵯峨 泰・藤原 寛行・鈴木 光明…………… 902	6. HIV 渡辺 博……………1058
3) 胚細胞腫瘍 小倉 寛則・森重健一郎…………… 908	●不妊診療の ABC—ART の前にできること (9)
＜再発卵巣がん治療＞	インフォームド・コンセントに役立つ不妊統計 柳田 薫・高見澤 聡・溝口かをる……………1094
1. 再発卵巣癌の手術療法 津田 尚武・牛嶋 公生・嘉村 敏治…………… 914	不妊検査の要点 菅沼 信彦……………1102
2. いわゆる「マーカー再発」への対応 山下 博・新井 宏治・青木 大輔…………… 919	＜不妊原因診断と ART の前の対処法＞
3. TC 療法の適応と限界 有吉 和也・齋藤 俊章…………… 924	1. 中枢性排卵障害・高 PRL 血症 今井 文晴・岸 裕司・峯岸 敬……………1108
4. セカンドライン化学療法 松本 光史…………… 931	2. 多嚢胞性卵巣症候群 (PCOS) 柴田 健雄・富澤 英樹・牧野田 知……………1114
5. 分子標的薬の役割 本原 剛志・田代 浩徳・片渕 秀隆…………… 940	3. 早発卵巣機能不全—Premature ovarian failure : POF 千石 一雄・宮本 敏伸・宮川 博栄……………1122
分子標的治療薬の種類と作用機序 島田 宗昭・板持 広明・紀川 純三…………… 946	4. 卵管の異常 末岡 浩……………1127
●母子感染—新しい制御戦略 (8)	5. 子宮内膜発育障害 杉野 法広・嶋村 勝典・高崎 彰久……………1131
妊婦健診における感染検査 小島 真奈・濱田 洋実…………… 980	6. 子宮奇形 竹下 俊行・峯 克也……………1138
＜胎内感染のリスクと対策＞	
1. トキソプラズマ 牧野 康男・松田 義雄…………… 986	

7. 子宮筋腫, 子宮腺筋症	清水 良彦・木村 文則・村上 節……………1143
8. 頸管因子	弓削 彰利・橋原 久司……………1148
9. 子宮内膜症	伊東 宏絵・井坂 恵一……………1152
10. 免疫性不妊症	柴原 浩章・郡山 純子・池田 伴衣・平野 由紀・鈴木 達也・鈴木 光明……………1156
11. 男性不妊—乏精子症・無精子症, 性交障害	谷口 久哲・松田 公志……………1166
12. 原因不明不妊	熊澤由紀代・寺田 幸弘……………1170

●子宮頸癌—予防と妊孕性温存のための治療戦略 (10)

<予防戦略>

1. 子宮頸がん一次・二次予防	橋口真理子・岩坂 剛……………1206
2. HPV ワクチンの投与対象	鈴木 彩子・小西 郁生……………1212
3. HPV ワクチンの臨床試験成績 update	吉川 裕之……………1216
4. HPV ワクチンの医療経済学	福田 敬……………1221
5. 次世代 HPV ワクチンの開発	川名 敬……………1225

<妊孕性温存のための治療戦略>

1. CIN2の取り扱い	近藤 一成・角田 肇……………1233
2. 子宮頸部微小浸潤癌の治療戦略	寺井 義人・金村 昌徳・大道 正英……………1239
3. 広汎子宮頸部摘出術の適応と限界	新倉 仁・八重樫伸生……………1244
4. 広汎子宮頸部摘出術の術式	榎本 隆之・森本 晶子・吉野 潔・木村 正……………1248
5. 広汎子宮頸部摘出術の合併症	奥川 馨・小林 裕明……………1255
6. 広汎子宮頸部摘出術後妊娠の妊娠・分娩の管理	峰岸 一宏・藤井多久磨・田中 守・西尾 浩・青木 大輔……………1260
7. 腔式広汎子宮頸部摘出術	齋藤 豪……………1266

●常位胎盤早期剥離—ワンランク上の診断と治療 (11)

早剥の疫学—最近の傾向

山田 崇弘・水上 尚典……………1298

病態解明の現状

小林 隆夫……………1302

病因とリスク因子

平松 祐司・延本 悦子・増山 寿……………1308

<診断におけるポイントと課題>

1. 早剥の臨床所見	大口 昭英・松原 茂樹……………1313
2. 常位胎盤早期剥離の超音波所見	増崎 英明・東島 愛……………1318
3. 早剥のCTG所見	桂木 真司・池田 智明……………1326
4. 総合的判断と早期診断	古川 誠志・鯨島 浩……………1335

<治療におけるポイントと課題>

1. 早剥の出血に関するリスク分析	松岡 隆・仲村 将光・長谷川潤一・市塚 清健・関沢 明彦・岡井 崇……………1340
2. 常位胎盤早期剥離(早剥)のDIC対策と治療	加藤 誠・伊東 宏晃・金山 尚裕……………1346
3. 帝王切のタイミングとIUFDの取り扱い	関 博之・村山 敬彦……………1352
4. 救急搬送における問題点	山田 学・杉本 充弘……………1358

早剥の胎盤病理

中山 雅弘……………1364

母子の予後と次回の分娩管理

川名有紀子・安達 知子・中林 正雄……………1371

●早産—ワンランク上の予防と管理 (12)

わが国における早産の実態

齋藤 滋……………1408

早産発生機序

上妻 志郎……………1414

<早産の予防・診断>

1. 早産のリスク因子	朝倉 啓文……………1422
2. 妊婦健診の要点	大槻 克文・太田 創・徳中真由美・大場 智洋・澤田 真紀・岡井 崇……………1428
3. 早産マーカー	菊地 信三・天野 完・海野 信也……………1438
4. 早産と細菌性陰症	田村 直顕・伊東 宏晃……………1444
5. 早産と絨毛膜羊膜炎	山田 俊・水上 尚典……………1448

<早産の管理>

1. 子宮収縮抑制薬の使用法	川越 靖之……………1453
----------------	----------------

2. 抗菌薬の選択	
中井 章人	1458
3. ウリナスタチンの有用性	
杉村 基	1464
4. 頸管縫縮術の実際	
小嶋 伸恵・山崎 峰夫	1469
5. preterm PROMの管理	
平野 秀人	1475
6. FIRS (Fetal inflammatory response syndrome)の病態と管理	
三浦裕美子・西村 陽子・長尾 充	1481
7. 早産児の娩出方法	
村越 毅	1488
8. 早産における母体搬送の要点と問題点	
鈴木 真・梶谷 由香	1494

原 著

子宮頸部初期病変に対するLEEP法による円錐切除術の検討—ループ型電極とニードル型電極の比較	
我妻 理重・三浦 伶史・湊 敬廣・濱田 裕貴・松本 大樹・吉田 祐司	279 (3)
後腹膜リンパ節郭清後のリンパ流路の検討—側副路は存在するのか？ 下肢リンパ浮腫を起こさない方法は？	
晴山 仁志・伊藤公美子・羽田 健一・川西 康之・箱山 聖子・山村 満恵・内田亜紀子・早貸幸辰・平山 恵美・及川 衛・奥山 和彦	283 (3)
糖尿病合併妊娠、妊娠糖尿病における母体の妊娠前BMI、妊娠中インスリン量、妊娠中体重増加率と児出生体重との相関についての検討	
林 彤・正本 仁・青木 陽一	725 (5)
単孔式腹腔鏡下婦人科手術におけるスポンジ・スパーの有用性	
松原 圭一・兵頭 由紀・越智 博・近藤 裕司・荒木 陵多・内倉 友香・池田 朋子・井上 彩・平野友美加・鶴久森夏世・小塚 良哲・松尾 環・阿部恵美子・野田 清史	844 (6)
子宮体部原発横紋筋肉腫の1例	
濱 崎 晶・谷本 博利・秋本由美子・本田 裕・永井 宣隆・三田尾 賢・金子 真弓	1509 (12)

臨床経験

尿中hCG検出試薬ゴナスティックW®の使用経験と臨床的有用性	
市塚 清健・岩崎 信爾・岡井 崇	1193 (9)
開業医の行う計画硬膜外無痛分娩(2)—10年間の症例より—	
塚谷 栄紀	1283 (10)

症 例

子宮頸部large cell neuroendocrine carcinomaの1例	
濱田 裕貴・小池 彩・松本 大樹・吉田 祐司・我妻 理重・坂元 和宏	74 (1)
卵巣腫瘍との鑑別診断が問題となった成人Hirschsprung病の1例	
佐藤賢一郎・森下 美幸・鈴木 美紀・北島 義盛・奈良崎 亘・田原 泰夫・水内 英充・水内 将人・塚本 健一・藤田 美惺	79 (1)
頸部リンパ節転移を契機として発見された原発性卵管癌Ⅳ期の1例	
朝野 晃・松浦 類・島 崇・早坂 篤・斎藤 涼子・鈴木 博義・和田 裕一	180 (2)
MRIにて脂肪抑制を示さないfat balls様所見を認めた成熟嚢胞性奇形腫の1例	
佐藤賢一郎・森下 美幸・鈴木 美紀・北島 義盛・水内 英充・水内 将人・塚本 健一・藤田 美惺	184 (2)
閉経後に増大した脂肪平滑筋腫の1例	
佐藤賢一郎・水内 英充・北島 義盛・水内 将人・塚本 健一・藤田 美惺	731 (5)
術前に卵巣癌を疑った水腫様変性漿膜下子宮筋腫の1例	
朝野 晃・早坂 篤・鈴木 博義・石橋ますみ・島 崇・小澤 信義・和田 裕一	848 (6)
分娩後に筋腫分娩に伴う大量出血を来した1例	
上田 大介・伊勢由香里・國久 有香・上田 智弘・西島 光浩・岩崎 正憲・堀口 英久	965 (7)
子宮内膜類内膜癌に絨毛癌を伴った1例	
朝野 晃・島 崇・早坂 篤・鈴木 博義・小澤 信義・和田 裕一	1077 (8)

安価な材料で作成したTissue Microarray—TMAを用いた研究の効率化

飯田 幸司・中山健太郎・宮崎 康二
..... 1395 (11)

教訓的症例から学ぶ 産婦人科診療のピットフォール

経陰分娩後に発症し動脈塞栓術にて止血しえた腎動脈瘤破裂の1例

小林 康祐・堀内 緑・東上 加波・栗原史・鶴岡みずほ・松浦 孝幸・山中 政人・大本和美・島 絵美里・八重樫優子・島 敬之・中川 達生・宇田川秀雄..... 69 (1)

腹腔鏡下子宮筋腫核出術後に発生したparasitic myomaの症例

渡り 綾子・熊切 優子・小堀 宏之・山本勉..... 176 (2)

癌性腹膜炎が疑われた結核性腹膜炎の1例

高野 忠夫・石橋ますみ..... 272 (3)

大動脈血管内バルーン閉鎖術、膀胱部分切除術により救命しえた全前置穿胎盤を合併した反復帝王切開の1例

有馬 宏和・飯田 俊彦..... 716 (5)

20歳代の子宮体癌の2例

沼 文隆・平林 啓・中川 達史・伊藤 淳・後 賢・中田 雅彦・伊東 武久・山下吉美..... 832 (6)

UAE後の子宮筋腫に感染を生じ、肝機能障害を併発した1例

村木 紗知・疋田 裕美・石田 友彦・森田 豊..... 956 (7)

挙児希望にて来院し、子宮頸部小細胞癌と判明した1例

藤田 裕・山崎 龍王・梅澤 聡
..... 1066 (8)

診断に苦慮した骨盤内腫瘍の2例

宮原 大輔・江口 冬樹..... 1187 (9)

羊水腔への出血のため正常血小板数にもかかわらず低フィブリノゲン血症を呈した1症例

中後 聡..... 1272 (10)

妊娠中に診断されたクローン病合併妊娠の1例

手塚 真紀・小林 浩一・佐原力三郎・酒匂美奈子・河川 貴昭・橋本 拓造..... 1382 (11)

子宮筋腫核出部において嵌入胎盤を生じた1例

川北かおり・小菊 愛・秦 さおり・伊藤 嵩博・奥杉ひとみ・近田 恵里・佐原裕美子・竹内

康人・片山 和明..... 1499 (12)

OBSTETRIC NEWS (武久 徹)

切迫早産— β_2 受容体作動薬内服禁止 (FDA)

..... 838 (6)

子宮頸管短縮妊婦に対する天然型プロゲステロン使用で、早産率を有意に減少させられる

..... 960 (7)

子宮頸管短縮妊婦に子宮頸管縫縮術は有効か？

..... 1070 (8)

この症例をどのようにに取り扱うか？—子宮頸管長と早産

..... 1178 (9)

Ultrasound-indicated cerclage～英国産婦人科学会2011年

..... 1280 (10)

早産管理のパラダイムシフト

..... 1392 (11)

子宮頸管長計測～カナダ産婦人科学会臨床医療ガイドライン

..... 1506 (12)

サクラの国のインドネシア (東梅久子)

13. 梅毒との関連づけ..... 722 (5)

14. 最後の国家試験..... 842 (6)

15. 合格率4% 1074 (8)

16. 12・26から3・11 1182 (9)

17. 東日本大震災とイスラム教徒の懸念..... 1278 (10)

18. 東日本大震災と支援..... 1390 (11)

19. 引き寄せられた未来..... 1504 (12)

Estrogen Series (矢沢珪二郎)

91. Bioidentical hormonesとは？ 67 (1)

92. エストロゲンの経口投与vs経皮投与：First pass effectについて 173 (2)

93. 黄体ホルモンの名称について：Progesterone, Progestins, Progestogensの3種の名称による区別 269 (3)

94. 子宮摘出術に伴う任意両側卵巣摘出術の頻度 715 (5)

95. 更年期後のエストロゲン＋黄体ホルモン療法と子宮内膜癌の関連 830 (6)

96. ホルモン療法と乳癌の発生について WHIのフォローアップ 955 (7)

97. エストロゲン低用量錠による萎縮性陰炎の治療 1064 (8)

98. Premature ovarian failure 1177 (9)

99. 緊急避妊法Emergency Contraception 1276 (10)

100. ホルモン療法と心疾患の関連は？	1388 (11)
101. 内診はピル処方の条件か？ ピルを処方するときに、内診は本当に必要なのか？	1498 (12)

FOCUS

放射性物質による環境汚染の影響を危惧する妊娠・授乳婦人への対応—日本産科婦人科学会はどのような情報提供を行ってきたか	
水上 尚典	1376 (11)

病院めぐり

明和病院	平 省三	66 (1)
独立行政法人 労働者健康福祉機構 関東労災病院		
	香川 秀之	172 (2)
千葉西総合病院	廣瀬 一浩	268 (3)
横浜労災病院	中山 昌樹	714 (5)
小田原市立病院	平吹 知雄	829 (6)
済生会横浜市東部病院	小西 康博	954 (7)
社会医療法人愛仁会千船病院		
	本山 覚	1063 (8)
大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター		
	小池 奈月	1186 (9)
東京北社会保険病院産婦人科		
	大野 智子	1271 (10)